

議会だより

ワットサム

※「ワットサム」とはアイヌ語でワット（にれの木）・サム（傍）という意味で、わっさむの由来です。

第85号 2016年11月4日

p13
臨時議会
く公営住宅を新たに・豪雨災害復旧く



写真 西町中央児童公園にて
仲良し家族・長井家
（表紙説明は12ページ）

- p2 9月定例会 楽天システムを導入～ふるさと納税～
- p5 町政を問う。 一般質問に6議員が登壇
- p12 Topic議会 ～大雨被害現地視察～
- p14 町民インタビュー聞かせて 新婚さんにクローズアップ！

寄付額増につながるか

楽天ふるさと納税システム導入

9月定例会議会

9月定例会議会（第3回定例会）は、平成28年9月15日から16日にかけて開催され、人事案件や補正予算などを審議し、可決しました。また、一般質問では6人の議員が登壇し、決議1本、意見書5本を可決して閉会しました。

なお、今定例会の傍聴者は延べ5人でした。

補正予算

各会計の主な増減は次ページの表のとおりです。

【一般会計補正予算】

（全員賛成可決）

総額で約2,895万円の増額補正をしました。総務費では、楽天ふるさと納税システムの導入による手数料の増額補正を可決しました。

これにより、楽天ホームページ内でのふるさとまちづくり応援寄付金の申請が可能になります。また、従来の寄付目的に加え、下記の新たな目的が追加されました。

新たな寄付の目的	高齢者率40%超！ 地域医療を支える事業
	三浦綾子小説の舞台「塩狩峠」 塩狩峠地域周辺整備事業
	田舎から世界へ！ 日本の未来を支える子どもたちの国際交流事業

既存の寄付の目的	高齢者福祉に関する事業
	教育・少子化対策に関する事業
	自然環境保全に関する事業
	産業振興に関する事業
	町長が必要と認める事業（町に一任）

※平成28年4～9月末の寄付状況

件数 414件（前年度月対比143.2%）

寄付額 4,910,100円（前年度月対比137.9%）

【国民健康保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

過年度分の退職者被保険者医療費に係る交付金の精算による返還金の増額補正を可決しました。

【介護保険特別会計補正予算】

（全員賛成可決）

保険事業勘定では過年度分の精算による各種返還金の増額補正を可決しました。

財産取得

平成21年に更新した総合行政情報システムの保守期間が終了するため、北海道市町村備荒資金組合の防災資機材譲渡事業を活用して更新するものとし、これを可決しました。（全員賛成可決）

人事

【固定資産評価審査委員会委員の選任】



▲吉田 隆宏 氏

吉田氏は平成20年から
任命されており、今回で
3期目になります。
(任期4年)



▲佐藤 孝一 氏

佐藤孝一氏(日ノ出)
を選任することに同意し
ました。
佐藤氏は平成19年から
選任されており、今回で
4期目になります。
(任期3年)

【教育委員会委員の任命】

(全員賛成可決)

吉田隆宏氏(西町)を
任命することに同意しま
した。



【平成27年度一般会計及
び特別会計歳入歳出決算
に係る健全化判断比率及
び資金不足比率の報告】
和寒町の財政状況は健
全である旨の報告があ
りました。

報
告

町立病院事業会計に係
る決算について、決算審
査特別委員会を設置し、
付託のうえ閉会中に審査
することとしました。

委員会付託

【平成27年度国民健康保
険町立和寒病院事業会計
決算認定】

各会計補正一覧表

(※1万円未満切り捨て表記)

会 計 別	補正前の額	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	45億999万	2,895万	45億3,894万
主な増減内容 (※抜粋掲載のため、 各事業補正額と補正額の 合計は合致しません。)	○手数料(楽天ふるさと納税)……………45万 ○総合行政情報システムマイナンバー 運用テスト業務委託……………382万 ○議場マイクロホン選択装置修繕料……………320万 ○B & G プール連結管修繕料……………120万		
国民健康保険特別会計	7億1,710万	64万	7億1,774万
主な増減内容	○国民健康保険準備事業 システム改修業務委託……………21万		
介護保険特別会計 保険事業勘定	5億8,223万	268万	5億8,491万
主な増減内容	○介護給付費負担金国庫・道返還金……………244万		
介護保険特別会計 サービス事業勘定	4,695万	△13万	4,682万
増減内容	○芳生苑内部等改修工事(西棟)……………△13万		

みんなの声を国政に

公益に関わる決議案が1件、意見書案が5件提出されました。
第3回定例会において審議の結果可決され、関係行政省庁に提出されました。

JR北海道に公共交通機関としての使命を果たすことを求め、共に道北地域の創生を目指す決議

提出者 佐々木広行
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 国土交通大臣
北海道議長 北海道知事
北海道旅客鉄道株式会社

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

提出者 酒向 勤
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 財務大臣
総務大臣 文部科学大臣
農林水産大臣 経済産業大臣
国土交通大臣 環境大臣
復興大臣

農業・農村を崩壊させかねない農政改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める要望意見書

提出者 金谷浩幸
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣

JR北海道・JR四国・JR貨物に係る税制特例の恒久化を求める意見書

提出者 伊藤 明
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣 総務大臣
国土交通大臣

指定団体制度の堅持など酪農政策確立に関する要望意見書

提出者 中原浩一
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
農林水産大臣

「米政策改革」の抜本的見直しを求める要望意見書

提出者 中原浩一
採決結果 可決（全員賛成）
提出先 衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
農林水産大臣

町政を 問う。

一般質問

和寒町では1人につき60分の制限時間が設けられ、質問の回数は無制限で行われます。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関（町長・教育長）に疑問点をだし、所信の表明を求めるものです。

※紙面の都合上、概略のみ掲載しています。

質問議員	質 問 事 項	ページ数
石田 利美 議員	①チップボイラー増設の方向性は ②集中豪雨の被害また今後の対応策は	6 ページ
金谷 浩幸 議員	①公営住宅の安心・安全対策は ②受動喫煙防止対策の今後は	7 ページ
谷口 勝弘 議員	①元気づくり支援金の今後は ②和寒町の災害弱者対策は	8 ページ
伊藤 明 議員	①水害による地域防災対策本部の反省は ②おでかけハイヤーのチケット枚数の拡大は	9 ページ
中原 浩一 議員	①災害対策の対応は ②JR和寒駅のトイレの水洗化を	10 ページ
酒向 勤 議員	①降雨被害の対応は ②ジャンプ少年団の対応は	11 ページ

問 チップボイラー増設の方向性は

答 維持や改修に係る経費を見極めて検討していく

問 集中豪雨の被害また今後の対応策は

答 避難対策を検証し、防災対策の強化に努める



石田利美議員

チップボイラー増設の方向性は

平成25年に木質バイオマス燃料の熱源供給施設が稼働して、年間に約450トン程度のチップを製造している。

当初は、年間800トンを目標に、地球温暖化防止の取り組み、林業事業の活性化や雇用を図る目的が示されたが、未だに方向性が見えておらず、どう検討しているのか。

奥山町長

他の公共施設へのチップボイラーの導入は、公民館・中学校には灯油暖房設備の改修が必要。

研修館楡や特別養護老人ホームのように、給湯も含めた施設の年間を通した熱源供給の必要性など、様々な観点から検討が必要である。

このたびの大雨や台風災害を考えたとき、地球温暖化対策としての現在の取り組みは重要と認識しているが、今後も、新たなボイラーの設置は、既存設備の維持や改修に係る経費などを見極めて検討して

いく。

○再質問

研修館楡、和寒小学校、プール等にチップボイラーが使えるという話を聞いたが、方向性を見ながら、どれ位の大きさのボイラーがいるのか、どれだけお金がかかるのか試算したのか。

具体的な数字を出して答弁していただきたい。

広富副町長

構想的には、一つのボイラー棟を作った場合に、一つの施設より近い所の複数の施設を結ぶのか、それぞれの担当者とか何回か構想について話をしたことはあるが、試算等についてはない。



▲総合庁舎横で稼働中の木質バイオマス熱源供給施設

集中豪雨の被害また今後の対応策は

7月31日の集中豪雨、8月に入ってから北海道に3個の台風が上陸し、甚大な被害をもたらした。

今回の被害額は、また、新たな今後の対応策は。

奥山町長

農地の冠水、浸水や表土の流失などによる作物被害は、被害戸数が82戸、被害面積278.4ヘクタールである。

農道や法面など、農業施設の被害は60箇所であり、被害種類の細分化で121箇所となり、町管理の道路・河川等の被害は181箇所である。

被害額は、農作物で1億2,700万円、農業用施設は2,850万円、土木施設関係で4,230万円である。

また、7月31日の剣淵町境の集中豪雨は、降雨量が2時間で100ミリを超えており、8月17日から23日にかけての台風の大雨が300ミリに達し、近年、経験したことのない豪雨であった。

災害対策は河川や排水路の冠水により、住宅や農地への浸水を防ぐため、土のうの設置や砂利の嵩上げを行い、地元水防組合や地先の方々と相談して、北原・菊野・大成地区に、9箇所水中ポンプを設置し対応した。

災害対応は、関係者からの情報収集や現地の調査作業、住民の避難対策を含めて検証し、防災対策の強化に努める。



▲7月31日の豪雨の様子（大成 おや里かん前）

金谷浩幸議員



問 公営住宅の安心・安全対策は
答 財源の確保などを含め研究する

問 受動喫煙防止対策の今後は
答 喫煙室撤去後の喫煙場所設置は考えていない

公営住宅通路を舗装化しては

市街地についてはバリアフリー化が進み、段差が少なく通行しやすいが、公営住宅の玄関前通路は砂利道のままであり、高齢化が進みキャリカー等を利用する方々には歩きにくい。

また、冬の除雪等のことも含めて考えるとき、舗装化することで安全利便性が向上すると考えるが。

奥山町長

町では、10団地96棟404戸の公営住宅を管理しており、このうち、平成7年度以降に建設された高齢者向け公営住宅の通路については舗装化をしているが、その他の公営住宅の通路については、砂利道となっている。

高齢化が進展している状況などを踏まえ、交通弱者に配慮した段差のない安全な歩道を確保するため、市街地における町道のバリアフリー化を平成3年から計画的に進めており、現在の進捗状況は78パ

ーセントになっている。
新たに整備する公営住宅の通路について、引き続き舗装化をしていく。

既に建設された公営住宅の舗装化については、町道のバリアフリー化を優先して進めながら、課題となる財源の確保などを含めて研究していく。

○再質問

実際の建設費用は。

広富副町長

単純に舗装すると4千万円程度という話で、個々の状況も違うので、かかる経費については、その何割増しか2倍になるか分からない。



▲舗装化が望まれる公営住宅通路

受動喫煙防止対策の今後は

平成26年6月に策定した受動喫煙防止対策のための指針により、総合庁舎内の喫煙室を町民センター1階に集約化し、煙が流出しないように改修した。

設置期限を2年間としているが、その後の対策として喫煙者に対する配慮は。

奥山町長

指針では、町民の皆さんに受動喫煙防止の重要性をしっかりと認識していただくとともに、多くの町民の方々が利用する公共的な空間を、たばこの煙からできる限り守る手段を講じることとしており、公共施設の禁煙エリアの拡大を進めてきている。

今後、受動喫煙防止対策を含め、健康づくりや健康増進に向けた普及啓発等に積極的に取り組んでいく。

総合庁舎における喫煙室撤去後の喫煙場所の設置については考えていない。

○再質問

26年度、町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税）全体に占めるたばこ税は11.1%（3,278万円）、納税者に対して配慮しないのか。

奥山町長

たばこ税3千万円よりも、皆さんがたばこを吸ってかかる医療費の方が、はるかに大きいと同時に、特に行政は受動喫煙防止対策を進めるという立場であり、喫煙を奨励する立場に無い。



▲平成29年3月末に撤去される総合庁舎内喫煙所

問 元気づくり支援金の今後は 答 効果的な事業に



谷口勝弘議員

問 和寒町の災害弱者対策は 答 教訓を得て安心できる生活環境を守る

元気づくり支援金の目的は

この事業は、和寒をより魅力的で、より元気のある町にしたいと考える幅広い分野の人たちが自由な発想で事業をできるのが目的である。

今年度から期間が最長5年と決められて、利用する人が減るのではないか。

奥山町長

この事業は、町民全体が、活力に満ちて元気のある町づくりを進めて行くことが目的。色んな団体の方が手を挙げたときに、その支援の入り口としては有効な補助金だと思う。

ただし、何でもかんでも良いのかというわけにはいかない。

その事業そのものが、行政として支援する必要性があるのか、一度立ち止まらないとならない。

現在、様々な分野で元気づくり支援金が利用されている。商工業の活性化、農業の関係や、教育の関係。

5年が短いのか長いのかという問題はあるが、自立というよりも町民皆さんに、取り組んで欲しいような中身、もしくは紹介しなくてはならないような中身になってくれば、町の教育分野や、産業分野などの各分野で取り組んでいて、そこから補助金の対象を組むのが、本来の形だと思う。この事業は、数年、数十年も続けていくものではなくて、最低3年ないし5年の中で、そのやり方などを、考えながら自立していき、和寒町の町づくりに貢献してほしいと考えている。

○再質問

町としては、今後利用を広げたいと考えているのか。

広富副町長

この支援金をもらわなければ、元気が出ないというものではない。

何か開発しようとする時の最初にかかる資金を支援することがもともとの目的である。

和寒町の災害弱者対策は

今年の夏は、北海道ばかりではなく全国的にも台風の被害が多く出た。

来年、台風が北海道に上陸しないという保証はどこにもない。

これを機に想定できることは想定して、避難勧告の際には、空振りを恐れず対応できるように、町民の災害に対する危機意識を高めるような取り組みをするべきでは。

奥山町長

危機意識を町民にどれだけ持ってもらったというのが一番大事である。

和寒町は兼ねてから災害が少ない町という意識を持っている町民が多いが、想定外が許されないのが人命である。

今回の北海道各地の災害の事例だけでなく、全国各地で様々な災害が起きている。

その生きた教訓を参考にしながら町民が安心して生活できるような環境を守っていく。

わっさむ元気づくり支援事業

あなたの 元気づくりを応援します！

私たちのまちを魅力的で元気なまちにするために
みなさんの自主的な活動を応援します。

一人ひとりの熱い思いと 一つ一つの元気な活動が
大きな大きな力となって
やふりもって元気あるまちの「わっさむ」に

対象団体
町内の3名以上の
団体やサークル等

支援の金額
上限 30 万円

対象事業
元気で魅力あるまちづくりのために、和寒町の特色を活かし、創意工夫により自主的に取り組む元気づくり事業が対象です。

これまでの支援内容

- ・畜産局が活用施設の研究
- ・和寒農産物のPR、収穫体験
- ・施設無障壁化の推進
- ・小中学生を対象としたワークショップ、体験学習
- ・コミュニティカフェの開設

※ 詳しい条件については募集要項をご覧ください。

〒090-0182 上川郡和寒町字西町120番地
和寒町役場 総務課まちづくり推進係
TEL: 0165-32-2421 FAX: 0165-32-4230
Eメール: city@city.wakkanai.hokkaido.jp
和寒町のホームページ: <http://www.wakkanai.hokkaido.jp/>

申請は、随時受け付けています。

申請と
お問い合わせ

▲わっさむ元気づくり支援事業募集チラシ

伊藤 明議員



問 水害による地域防災対策本部の反省は 答 避難情報伝達を自治会と連携

問 おでかけハイヤーのチケット枚数の拡大は 答 利用者の声を聴きながら対応する

地域防災対策本部の機能と反省は

今回の豪雨災害に関わって、計画どおり対策本部は機能したのか、また、情報収集や住民への告知等の反省は。

奥山町長

7月31日以降の度重なる大雨や台風において、私を本部長として、被害状況の速やかな把握や、必要な対策に努めてきた。

夏まつりは大雨注意報が発令されていた中、大きな雨にもあたらず終了したが、16時以降の市街地と打って変わり、北原では2時間で103ミリなど西和・菊野・大成・東和と剣淵町境が大きな被害となり、現地における速やかな情報収集の重要性を痛感した。

また、避難準備情報は夜間に発令したため情報が届かない状況もあった。

今後、自治会との連携も含め、的確な情報提供のあり方を研究したい。

○再質問

これらの災害を受けて、今後全町民を対象とした避難訓練を実施する考えは。

奥山町長

昨年は、仲町自治会の協力を得て訓練を実施したが、基本的な防災に対する普及啓発が大切だと思っている。
全町一斉の提案を含め、今後、更に検討していきたい。

町内施設への案内看板は

昨年の一般質問で役場等への案内看板については、開発局や土現とも協議して設置する方向で回答を得たが、以後の進捗状況は。

奥山町長

今年度、和寒小中学校の案内看板を設置した。

昨年11月には開発局が所管する案内看板を要望し、本年7月に塩狩にある看板には「夫婦岩」を加え、また国道19線には「ふれあいのもの」を追加する看板設置の回答を

得たところ。

現在、看板の無い公共施設についても引き続き検討していく。

○再質問

町政懇談会でも要望のあった「号線道路の表示看板」の設置は。

広富副町長

他町村でも設置していることは承知している。

除雪との関係もあり、どう対応しているのか調査する必要があると考える。

要望もあることから、地域とも意見交換をしていく。

「おでかけハイヤー」チケット枚数の拡大は

「おでかけハイヤー」チケット助成は足腰の弱った高齢者に大変喜ばれているが、病院ばかりではなく、買い物や理美容院などの利用にも使用した場合、枚数が足りないとの要望があるが。

奥山町長

高齢者の外出機会を増やす目的で、26年10月から助成している。

本年度は75歳以上の24% 210名が利用され、平均で12.6枚の利用となっている。今後利用者的心声を聴きながら検討したい。

○再質問

利用者は要支援程度のひとり世帯の高齢者が多く、バス利用の不便な高齢者も移動に苦慮している。

町営バスとハイヤー利用料金の不公平感もぬぐえない。色々なケースに対応できるように対策を。

奥山町長

一昨年前に導入した事業のため、利用者も固定化している状況などのデータを参考にしながら検討したい。



▲おでかけハイヤー助成券

問 災害対策の対応は 答 防災意識を高めていく取組を進める

問 JR和寒駅のトイレの水洗化を 答 負担は地元協議会の理解を得た上で



中原浩一 議員

災害対策の対応は

本年は、今までにない台風の影響で、各地で甚大な被害に見舞われた。

その都度、和寒町も対策本部を立ち上げ対応してきたと思われるが、避難を呼びかけた時の対応と避難場所などの周知方法などは適切だったのか。

また、芳生苑などの福祉施設の避難のあり方はどのようなになっているのか。

奥山町長

この度の災害対策にあたっては、8月17日の台風による大雨以降、防災無線やエリアメールなどを活用し、平成25年3月に策定した洪水ハザードマップに基づき、対象となる地域を指定して、避難準備や避難勧告を発令してきた。

避難情報の発令にあたっては、避難をせずに済んだ地域はあるが、危機管理の責任者である私としては、人命を守ることを最優先に、町民に対して迅速に伝達することが大

切と考えている。

芳生苑などの福祉施設入所者の避難については、各施設において避難マニュアルを作成し、災害時の避難体制がとられており、職員の招集をはじめ、避難準備の体制を整えたところである。

町としては今後も災害時の避難については、高齢者施設と連携を図るとともに、各自治会と避難に係る共通認識を図りながら、町民の皆様が防災意識を高めていく取り組みを進める。

○再質問

避難勧告については自治会毎となっているが、広域というところもあり、避難しなくても良い地域については、避難することによって2次災害の恐れもあることから、もう少し地域を限定して避難勧告を出しては。

奥山町長

指摘の通り、ハザードマップといえども大きく地域として分けていることから、専門家の意見を聞いて、今のハザ

ードマップがどれだけの現状に近いのか見直す必要がある。

JR和寒駅のトイレの水 洗化を

町民から、JR和寒駅のトイレについては水洗にして欲しいとの要望が多かった。

和寒町の玄関口の一つでもある駅の衛生面、町のイメージ面、特に利用者の利便性からも水洗化が急務と考えるが、JRへの要請を行った経過と町としてはどのように今後対応していくのか。

奥山町長

JR和寒駅のトイレの水洗化については要望を行ってきたが、JR北海道においては厳しい経営状態が続いていることから、現時点では、当町の要望も含め、沿線自治体からの要望は進んでいない状況にある。

町としては、今後、時期をみて他の沿線自治体のように、駅舎の改修を地元が負担した場合の可能性などについても、地元協議会の理解を得た上で、

JR側と協議をしてみたいと考えている。



▲水洗トイレの要望が出ているJR和寒駅

一般質問後の対応は

一般質問後の対応について、報告をしていないことが奥山町政になってから多く見受けられるが。

奥山町長

その場で回答できるものの他に、関係者との調整等や調査研究等が必要な場合があり、協議に時間がかかる場合も多いことから、進捗状況については適宜お尋ね願いたい。

酒向
勤議員



問 降雨被害の対応は 答 関係機関に要請

問 ジャンプ少年団の対応は 答 子どもの夢を叶える

内水氾濫対策は

市街地の樋門が閉まった後の内水氾濫対応と今後は。

奥山町長

第一は、役場の担当者が準備した避難所に逃げていただくことを最優先に考えた。

9カ所に設置したポンプは、ぎりぎりの対策でしたので、町側の内水対策ができないことを考えると人命救助が第一と考えて対応した。

○再質問

日頃から内水氾濫に悩まれている方も多く、固定式のポンプを農家の方がトラクターで必死に回している。

やはり業者への委託に加えて、地域の自主的な協力が今後必要ではないか。

奥山町長

今回9台だったが、更に増える場合も当然考えなければならぬ災害だったと思う。

指摘のあった町側の内水面の話も含めてしっかりと検討する。

る。

○再質問

和寒福原線の対応は。

奥山町長

管理者である道の指示に従いながら、早い復旧をお願いした。

また一方で、20年も使われていない町道の笹敷を刈って調査したが、生活道路として難しいと判断した。

鷹栖側からの道も100ミリを超えると通行止めだったが、地域住民への連絡と安全確保のために開発局の許可を得て入った。

福原側から災害の通行止めの所に、朝方4時頃でも説明や連絡のため、町職員を常駐させ、対応した。

○再質問

ペンケベオツペ川について、剣淵町長と土木現業所に行かれたが、その内容は。

奥山町長

剣淵町の7号道路が冠水して通行できない状況になった。



▲内水氾濫の危険性を含んでいた樋門（寒川橋横）

ペンケベオツペ川が河川のカーブを回り切れずに真っ直ぐ道路を横断して田畑もかなり冠水した。

昨年の2月に川の土砂を上げ、床ざらいをしていたのでその時点では喜んでいました。

今回そのようなものでは間に合わないことが明白になったことを含めて、剣淵町長と旭川開発建設部土別道路事務所に図面を持ち、担当課長と出向き、詳細な説明をして、抜本的な改修をお願いした。

ジャンプ台の利用状況と整備は

多くの栄光を持つ和寒スキージャンプだが、ジャンプ台の利用が少ないようだ。

奥山町長

平成27年度は和寒スキー少年団ジャンプ部1名と加藤大平選手の弟、大君率いる旭川ジャンプ少年団8名が金曜ナイターと土日を中心に練習をしていた。

加藤大君は、旭川市に人事異動で戻って来られ旭川ジャンプ少年団を結成するも、嵐山ジャンプ台が閉鎖されており、和寒を使うようになったと聞いている。

また、昨年に引き続き、夢を叶えるため「未来のトップアスリート全力サポート事業2016」を開催し、講師に加藤大平選手その他、全日本ノルディック複合のコーチ2名にも協力していただき38名の参加があった。

Topic議会

議会広報委員会 研修

8月22日に㈱バリオン（広告制作会社）を訪し、当町議会だよりの内容の添削などについて学んできました。

その後、㈱北海道新聞社札幌本社を訪問し、同社の概要や新聞編集業務の工程などを視察してきました。

大雨被害現地視察

8月17、23日に台風7、9号を主とした豪雨を受け、被害状況を把握するため、8月29日に現地視察を行いました。

町で調査した資料に基づき、町内7箇所の河川や道路、圃場の状況を視察しました。

この度の豪雨により、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。

今年の作柄は？ 農作物生育状況調査

8月30日に農業委員、JA役員、町理事者など、町内関係機関合同での農作物生育状況調査が行われ、本議会も同行しました。

水稲・南瓜・大豆の圃場を視察し、豪雨の被害を受けた4箇所の圃場も視察しました。

3町議員研修会

9月6日に本町で開催された標記研修会に参加しました。

和寒町産業振興課畜産林政係長、鷲見幸一氏より「和寒町における農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業の実施状況について」と題した講演を受け、町内関係施設を視察しました。

道路・施設等 工事箇所を視察

10月17日に本年度発注した工事の現地調査を行いました。

全16箇所をまわり、担当者から各工事の概要を説明してもらいながら、進捗状況等を確認しました。

表紙の家族

日々、町民の安全を見守っている、和寒町駐在所所長長井健さんご家族です。

平成24年に和寒町に赴任され5年目になり、今年6月、長男壮真くんが誕生し、5人家族になりました。

この町の印象を「子どもを産み、育てるにはすばらしい環境ですね。」とおっしゃって下さる長井さんご夫婦。お子さまのすこやかな成長をお祈りしています。



◆議事録を図書館で公開しています。

議会の議案と議事録を、図書館で公開しています。開館中はいつでも閲覧することができます。

◆議会だより「ワットサム」は町ホームページでも閲覧できます。

<http://www.town.wassamu.hokkaido.jp>

トップ画面⇒議会事務局⇒議会だより「ワットサム」です。



第4回町議会臨時会

10月17日
開 催

公営住宅を新たに

～公営住宅長寿命化計画の見直し～

【一般会計補正予算】

平成28年度公営住宅新築工事（大通り）実施設計業務委託（650万円）に伴う増額補正を可決しました。

（全員賛成可決）

主な質疑

問

長寿命化計画の変更は以前から議論

してきたが、大通りに土地が出来たから慌てて計画変更することになったのはなぜか。

建設課長

住宅の建設計画がはつきり決まらない限り長寿命化計画の改築の変更はできなかった。

問

公営住宅建設の今後のスケジュールは。



▲公営住宅新築工事が予定されている大通り商店街

建設課長

予定している土地の物件の解体が平成29年4～6月頃、着工は7月頃の予定。

問

長寿命化計画を平成28年度当初に変更していれば、この委託料も国の補助金の対象になったのでは。

建設課長

今回は計画の変更ができない状況であつたため、補助対象外での扱いとなる。

来年度以降は補助金の該当になる。

豪雨災害復旧

豪雨災害によつて被害

のあつた河川（18箇所）及び道路（52箇所）の修繕、農地（47箇所）の復旧事業補助等に伴う増額補正（8,490万7千円）を可決しました。

（全員賛成可決）

主な質疑

問

農地被害について、以前に今回と同じ場所の被害はあつたのか。

表彰

和寒町表彰式に表彰される方々が決まりました。

（全員賛成可決）

功労章

○前川 淳一様（北町）

功労表彰

○石上 恵三様（南町）

○吉田 昭八様（三笠）

○佐藤 正男様（三笠）

産業振興課長

平成26年に表土流出が1件、農道破損が2件あつた。それ以前の状況は調べていない。

問

被災農家に対する救済措置は。

副町長

経営のための資金繰りが来年に向つてのポイントになり、融資の利息の支援については関係機関と連携して対応しなければならぬ。

○太田 清様（西町）

善行表彰

○榊 近藤組様

委員会付託

平成27年度和寒町各会計歳入歳出決算認定について、決算審査特別委員会に付託しました。

町民インタビュー 聞かせて



平成28年度、町民インタビューとして和寒町在住の新婚さんにクローズアップしました。
今回は、第2弾として昨年7月に結婚された田上圭太さん（まちの整骨院勤務）の妻真弓さんにお話を聞かせていただきました。



真弓さんは旭川出身で、和寒町に住んで1年経ちますが、どう？

昨年、結婚がきっかけで和寒町に住むことになりましたが、最初に思ったことが「ひとが優しい・治安が良い」と思いました。

私は、幼少の頃から旭川育ちで、遊ぶにしても危険な所がいっぱい。

テレビや新聞でも、近隣の人が誘拐事件を起こす事を考えると、和寒町では、あまり想像が来ないですよ。

そう考えたら、住みやすいまちだと思います。

結婚して気づくことある？

今は、au土別店店長として働いています。会議などがあると遅くなったりする事があり、家事と仕事の両立が大変です。でも、夫も協力してくれるので、すごく助かっています。

旦那さんの良いところは、

そうですね…。

気遣いが出来て素直なところですね。

昔から歌が好きで、イベントなどの依頼で歌う機会があるので、やはりサービス精神は素晴らしいと感じます。

でも、元々本人が備わっている、「人としての優しさ」があると思うし、日頃から、私だけではなく周りの人や、仕事場でも優しく振る舞えるのを見習いたいです。



わっさお町に望む事はある？

これから、家族を形成

していく中で、共働きとしての形は、出てくると思います。

今、騒がれている「待機児童問題」が、和寒町として問題になっているのかはわかりませんが、私自身もその立場に直面したとき困ると思います。

今の時代は、妻も働く時代として、仕事場と子育て環境は非常に大切なので整えて欲しいと思います。

でも、子育てする環境としては、町並みが綺麗・町民の方は優しい・治安が良い。

また、都会には無い住民サービスが、沢山ある事など非常に嬉しい事です。

今後の抱負は？

結婚して一年が経ちますが、これから大変なことが沢山あると思います。悩んだ時はすぐに相談して、2人力を合わせて頑張っていきます。

広報委員の一言

かぼちゃのランタンでお馴染みのハロウィン、起源は古代ケルトにあるそう。

古代ケルトでは10月の最後の31日に一年が終わるとされていて、その日に死者の霊や悪霊などが、子供たちをさらっていくと考えられていて、子供たちを守るために、おぼけの仮装をさせて、カモフラージュさせたことが始まりといわれている。もともとは、日本と言うお盆と大晦日のような日だったが、収穫祭の意味がこめられたことから、現在のようなお祭りイベントになり、日本でも地域振興などで取り入れられるようになった。

和寒町はかぼちゃ日本一の町。もっと、かぼちゃで盛り上がりていきたい。

（勝弘）